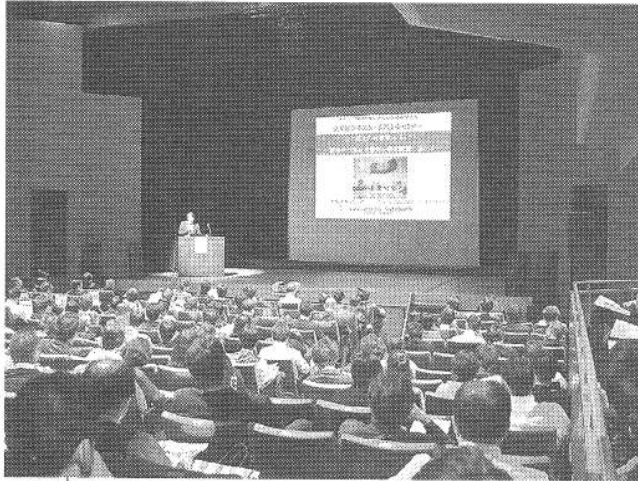


# 患者と職員の満足度 スマホで調査容易に



## ケアレビューが システム開発

医療機関向けに患者や職員の満足度調査の支援を行うケアレビュー（本社・宮市相生、加藤良平社長、電話05866・855・5840）は、公益財団法人・日本医療機能評価機構が実施するプログラム用に、スマートフォンなどで調査し、簡単に満足度などを集計できるシステムを開発した。同機構は2018年度から、同システムを活用した病院向けプログラムを開始する。調査結果を病院のサービスや経営の改善に役立ててもらおうのが狙い。（二宮・鶴居知世）

## 医療機能評価 機構向け 病院の経営改善を支援

同社は、医療法人で病院の経営改革に携わっていた加藤社長が、2004年に設立。調査ツールの開発のほか、全国各地の病院情報をデータベース化したウェブサイト「病院情報局」など、一般および医療関係者向けサイトの運営も手掛けている。

日本医療機能評価機構は、国や日本医師会が資金を寄付して運営する第三者機関。病院の運営方法や医療評価機構のセミナー（3月）

療サービスの質を評価し、経営改善をサポートしている。加藤社長は、同機構が展開する事業のうち、各病院内で医療サービスの改善に取り組む「クオリティマネジャー」を育成する講座の講師も務めている。

今回、同社がこれまで提供していた調査ツールをもとに、スマートフォンやタブレット端末で調査を行い、簡単に集計できるシステムを同機構向けに開発した。病院側は個別結果の確認に加え、他の病院と結果

の比較ができる。病院内部の改善に役立てるだけでなく、「高評価の場合、各病院の判断で外部に結果を公開し、患者へ安心感を与え、使い方もできる」（加藤社長）。

同機構は17年度、全国約180カ所の病院に参加してもらい、試行調査を実施。その報告のため3月にセミナーを開いた。18年度からの新プログラム「患者満足

度・職員やりがい度活用支援」で正式にケアレビューのシステムを利用する。

また、同社は、開発したシステムを、診療所や介護事業所向けに独自でサービス展開することも計画している。加藤社長は「満足度調査が普及し、医療業界で情報開示が進めば、医療の質の向上につながる」と期待している。

2018年4月3日  
中部経済新聞